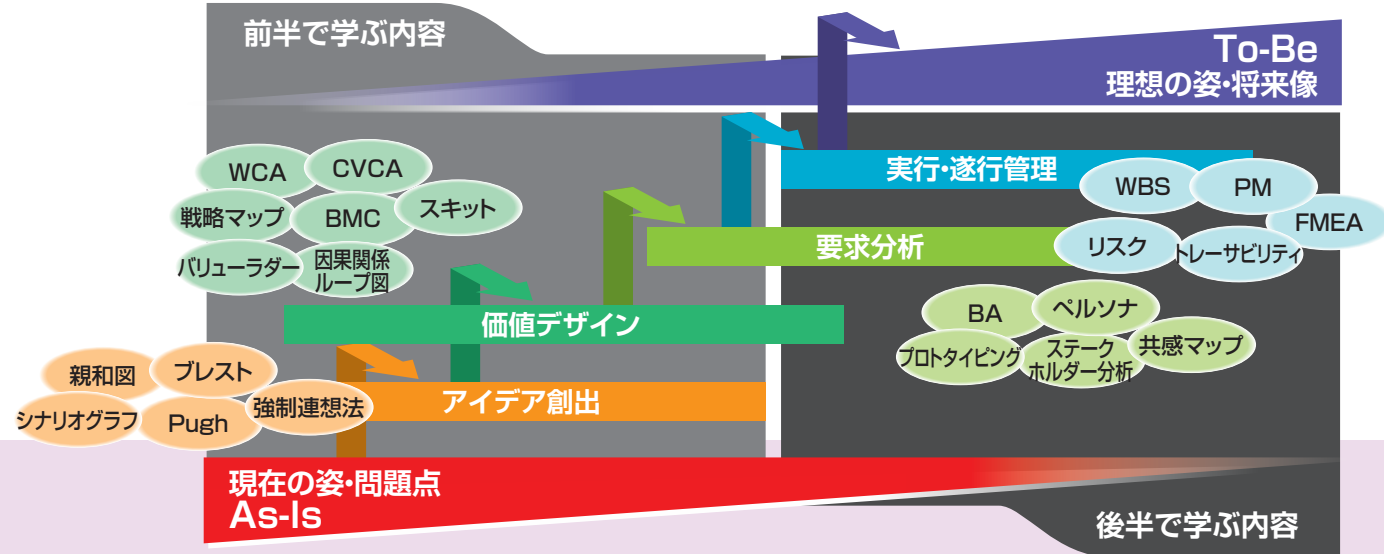


メソッド・ツール・実務事例・実体験 もりだくさん、 充実の熱い6日間。

プロジェクト・デザイン合宿研修概念図



プロジェクトリーダーの早期育成を目指して2009年にスタートした本研修も、今年でよいよ10回目を迎えることができました。ここまでの9年間、毎年欠かさず受講者の皆様の生の声をひとつひとつ反映させながら、より良いカリキュラムづくりのために改善を繰り返してきました。ここ数年、毎年社員を派遣して下さる常連の企業・団体様もいらっしゃる、お申し込みが殺到してキャンセル待ちが出るほどの人気講座に育ってきたのも、過去の受講者の皆様のおかげです。

本年度もSDMの教授陣によるシステム×デザイン思考に関する理論やツールを用いたワークショップに加え、実業界で豊富な経験を積んできたプロジェクトマネジメントのプロたちを講師に迎えた現場への適用を学ぶカリキュラムを踏襲しつつ、内容はさらにパワーアップしています。戦略に基づく新規事業プロジェクト・デザインを、超上流から具体的な要求分析まで一気通

全てのカリキュラムを修了された方には、最終日に「修了証書」をお渡しします。ご希望の方には最大49PDU(Education, T:36/L:5/S:8)の受講証明、52時間上限13ポイントのITCポイント付与証明を発行します。また、カテゴリー2Bで最大26.25CDU自己申請することができます。

貫したテーマで体験学習していただけます。

研修では、普段の業務で出会うことのない異業種のメンバーたちとグループワークを行うアクティブラーニングによって、新たな視点や気づきを得ながら学びを進めていきます。本年度は、SDMメソッドに基づいたプロジェクト・デザインのグループ演習を更に強化しています。中でも、より顧客価値やユーザー目線を体験的に理解していただくためのカリキュラムを充実させました。

例年、この研修で出会ったメンバーたちが同窓会を開くほどの良い仲間づくりになっており、研修期間だけでなく、長期にわたる人間関係のネットワーク構築のために、本研修をご活用いただいているようです。業種、職種を超えた仲間と一緒に、熱く充実した6日間を過ごしていただければ幸いです。皆様のご参加をお待ちしております。

大塚 有希子 当麻 哲哉

株式会社富士ゼロックス総合教育研究所 業務委託講師。博士(システムデザイン・マネジメント学)
PMP, CBAP, ITCインストラクター、1級FP
慶應義塾大学大学院SDM研究科 非常勤講師

経済産業省、中小企業庁からの優秀案件採択、表彰など。金融機関人事部門、戦略企画部門を経て、現在は、戦略・マネジメントに関するコンサルティング、制度設計および人材育成を行っている。SDM研究所の「ビジネスデザイン×プロジェクトマネジメントラボ」のリーダー、PMP®資格受験対策講座も担当。本研修において、セミナーコーディネーターを務める。



●セミナーコーディネーター
大塚 有希子
Yukiko Otsuka

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授、SDM研究所 マネジメントデザインセンター 代表、博士(システムデザイン・マネジメント学)、PMP

米国3M社の製品開発スペシャリストとして、20年間にわたるグローバル市場で数々のプロジェクト実績を積んだのち、2008年4月より大学教員。2009年にセミナーコーディネーターとして本合宿研修を立上げ、毎年内容をバージョンアップしながら今年で10回目を迎える。2015年より科学技術振興機構「プログラムマネージャー」の育成・活躍推進プログラム”メンター”を兼任し現在に至る。



●講師
当麻 哲哉
Teisuya Toma



慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授、SDM研究所 マネジメントデザインセンター 代表、博士(システムデザイン・マネジメント学)、PMP

米国3M社の製品開発スペシャリストとして、20年間にわたるグローバル市場で数々のプロジェクト実績を積んだのち、2008年4月より大学教員。2009年にセミナーコーディネーターとして本合宿研修を立上げ、毎年内容をバージョンアップしながら今年で10回目を迎える。2015年より科学技術振興機構「プログラムマネージャー」の育成・活躍推進プログラム”メンター”を兼任し現在に至る。

第10回「システム×デザイン思考」を实践に生かす プロジェクト・デザイン合宿研修

募集要項

期 日：2018年10月9日(火)～11日(木)、11月13日(火)～15日(木)
会 場：慶應義塾大学日吉キャンパス協生館
募集定員：30名
対 象：プロジェクトをイノベティブに企画・遂行するリーダーを目指す方
受 講 料：300,000円(税別) ※宿泊費は別途お納めいただきます
申込方法：WEBサイトよりお申込ください。



協生館宿泊施設

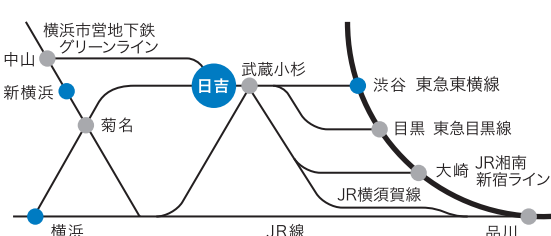
合宿形式セミナーのため、10月9日(火)、10日(水)および11月13日(火)、14日(水)は、原則として協生館内の研修宿泊施設へ宿泊していただけます。



システムデザイン・マネジメント研究所 (SDM研究所) とは?

SDM研究所は、企業をはじめ社会のあらゆる組織におけるシステムデザイン・マネジメントの理解とマネジメント能力の向上のため先端的研究・教育を行い、広く社会の発展に寄与することを目的として2008年に開設された研究科附属の研究施設です。公開講座・講演会・セミナー等の開催ならびに講師派遣、システムデザイン・マネジメントに関する研究調査、外部機関との研究プロジェクトの推進、国際機関・世界各地の大学および研究機関との協力・提携ならびに交流などの事業を行っています。

●交通アクセス



東急東横線、東急目黒線
※東急東横線の特色は日吉駅に停車しません。
横浜市営地下鉄グリーンライン
JR線
JR湘南新宿ライン
JR横須賀線
JR品川線

●お問合せ先

慶應義塾大学
日吉学生部 SDM担当
〒223-8526 横浜市港北区日吉4-1-1 協生館2F
Tel: 045-564-2518 Email: sdm@info.keio.ac.jp
<http://www.sdm.keio.ac.jp/>

第10回 2018

SDM

System Design and Management
プロジェクト・デザイン
合宿研修

2018

10.9 火 → 10.11 木
11.13 火 → 11.15 木
計6日間

「システム×デザイン思考」 を实践に生かす



【後援団体】



一般社団法人 PMI日本支部



特定非営利活動法人
日本プロジェクトマネジメント協会



一般社団法人 IIBA日本支部



一般財団法人 エンジニアリング協会



特定非営利活動法人
ITコーディネータ協会

【主催】



慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属
システムデザイン・マネジメント研究所マネジメントデザインセンター

合宿研修スケジュール


■ ワークショップ
■ ケーススタディ
■ 理論・コンセプト
■ 行事

※内容は変更される場合があります





前半	10/9 火	10/10 水	10/11 木	11/13 火	11/14 水	11/15 木	後半
8:00 8:45	【前泊可能】	【朝食勉強会】 当麻・大塚	【朝食勉強会】 当麻・大塚	【前泊可能】	【朝食勉強会】 当麻・大塚	【朝食勉強会 & グループ・プレゼンテーション準備】	8:00 8:45
9:00 10:30	開講式・事務連絡・写真撮影 10:00-10:30	休憩	休憩 & チェックアウト	中間発表 【調査分析報告】	休憩	休憩 & チェックアウト	9:00 10:30
10:45 12:15	【マネジメント・イノベーション・協創・幸せの関係】 前野	【アイデア創出】 当麻	【アイデア創出】 当麻	【ビジネスモデル・キャンパス】 演	【ビジネス・リスク】 都丸	【ビジネス・リスク】 都丸	10:45 12:15
12:15 13:15	昼食・自己紹介	昼食(各自)	昼食(各自)	昼食(各自)	昼食(各自)	昼食(各自)	12:15 13:15
13:15 14:45	研修イントロダクション 【研修概要および演習テーマ】大塚	【コンセプト定義】 長谷川	【戦略マップ】 演	【ビジネス環境の変化と強化すべきポイント】 高橋	【プロジェクトにおけるビジネスアナリシスと要求分析】 大塚	【プロジェクトにおけるビジネスアナリシスと要求分析】 大塚	13:15 14:45
15:00 16:30	【システム×デザイン思考】 白坂	【価値創出】 長谷川	【戦略マップ】 演	【プロジェクト遂行の戦略と戦術】 高橋	【プロジェクトにおけるビジネスアナリシスと要求分析】 大塚	【プロジェクトにおけるビジネスアナリシスと要求分析】 大塚	15:00 16:30
16:45 18:15	【リフレーミング】 長谷川	【プロトタイピング】 白坂	【プロジェクトへの展開】 演	【失敗事例から学ぶITプロジェクトの難しさ】 磯川	【要求引き出し】 大塚	【要求引き出し】 大塚	16:45 18:15
18:15 19:30	夕食(各自) & 自由時間	夕食(各自) & 自由時間	懇親会 18:00-19:30	夕食(各自) & 自由時間	夕食(各自) & 自由時間	夕食(各自) & 自由時間	18:15 19:30
19:30 21:00	【リフレーミング】 長谷川	【システムアーキテクチャ】 白坂	【手法適用事例】 長谷川	【手法適用事例】 長谷川	【要求引き出し】 大塚	【要求引き出し】 大塚	19:30 21:00
21:15 ...	ネットワーキング(自由参加) & 宿泊	ネットワーキング(自由参加) & 宿泊	ネットワーキング(自由参加) & 宿泊	ネットワーキング(自由参加) & 宿泊	ネットワーキング(自由参加) & 宿泊	ネットワーキング(自由参加) & 宿泊	21:15 ...


講師プロフィール



前野 隆司
Takashi Maeno
 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 委員長・教授 博士(工学)
 キヤノン(株)、カリフォルニア大学バークレー校客員研究員、ハーバード大学客員教授、慶應義塾大学理工学部教授を経て現職。
 専門分野: 人間システムデザイン(社会・コミュニティー、教育、地域活性化、農業、NPO、ヒューマンインタフェース、認知科学・哲学など)。
 著書: 「思考脳のつくり方」(角川新書)「幸せのメカニズム」(講談社)など多数。


白坂 成功
Seiko Shirasaka
 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授 博士(システムデザイン・マネジメント学)、PMP
 三菱電機株式会社では「このとり」(HTV:H-II Transfer Vehicle)の開発でアビオニクスアーキテクチャ設計、システム安全設計をはじめ、全体インテグレーションを行う。フライトコントローラとして運用終了まで実施。「このとり」開発では多くの賞を受賞。2011年度より現職。専門分野は、システムズエンジニアリング、システム×デザイン思考。2015年12月より内閣府革新的研究開発推進プログラム(ImpACT)プログラムマネージャー。



米澤 創一
Soichi Yonezawa
 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 特別招聘教授 元アクセンチュア株式会社マネジングディレクター
 2008年より非常勤講師として慶應SDMの教育に参画。2013年からプロジェクト・デザイン合宿研修で「本質把握」をテーマとした講義を担当している。
 約27年のアクセンチュア社におけるキャリアでは、プロジェクトマネジメント、ソフトウェア工学の専門家として大規模・高難度プロジェクトのPM、責任者を歴任。マネジメントディレクターとしては、日本における品質管理責任者、プロジェクトマネジメントグループ統括、SAPグループ統括、教育責任者等の役割を歴任。2017年12月に「プロジェクトマネジメントの生活のススメ」(日経BP社)を上梓。


濱 久人
Hisato Hama
 株式会社彩成コンサルティング代表取締役IPA情報処理技術者試験委員、PMAJ研修委員会委員、慶應義塾大学大学院 産業技術大学院 東洋大学 非常勤講師
 建設コンサルタントで都市計画、交通計画のプロジェクトを担当、その後パナソニック株式会社のシステムソリューション部門及び人材開発部門にて、システム開発部門のSE及びPMとして、各種プロジェクトを担当。さらにNTTデータの研修機関である株式会社NTTデータユニバーシティを経て、現在は株式会社彩成コンサルティングを設立。専門はプロジェクトマネジメント・事業戦略・人材育成など。現在は、事業戦略・プログラム&プロジェクトマネジメント・パーソナルスキルなどの研修を担当。


高橋 良之
Yoshikuni Takahashi
 テクノエンジ代表
 1964年日揮株式会社入社、国内・海外の石油精製、化学、食品加工、家電、自動車関連プラントのプロジェクトをプロジェクトマネージャーとして担当。エンジニアリング振興協会(当時)では、80年代にプロジェクトマネジメント部会委員を務める。現在は大学を含めたプロジェクトマネジメントの講座、研修会の講師、コンサルタントなどを行っている。



磯川 昌弘
Masahiro Isokawa
 クレジット・エス・アイ代表、PMP、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科非常勤講師、IT見える化協会フェロー
 また、過去の経験を活かしてITプロジェクトの「見える化」ノウハウの取まとめや価値の定量化についての研究を推進中
 1978年(株)日本ビジネスコンサルタント(現日立システムズ)入社。約40年にわたり金融業界の数々のシステム構築・アーキテクチャ設計、プロジェクトマネジメント管理体の整備に従事した。現在はノンバンク系システムのITコンサルタントとして対応中。2014年より慶應SDMにて、ITにおけるプロジェクトマネジメントの実務面の講義を担当。また2015年よりITプロジェクトの「見える化」ノウハウの取まとめを推進中。



長谷川 廣明
Hiroaki Hasegawa
 株式会社リコー 人事部 人材開発部 シニアスペシャリスト
 慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 白坂研究室 研究員
 顧客向けプログラマー、システムエンジニアを経て、株式会社リコーの基幹システム要求開発を担当。同時に慶應SDM研究科システムズエンジニアリング学を履修。現在も白坂研究室研究員として籍を置き、人材育成と事業創発を同時に行うメッドを開発中。技術者、設計者、企画者などあらゆる立場から事業を創出できる方法を論理的に組み立て、論文にすることを目標としている。株式会社リコーでは研究内容を各事業部で検証し、事業開発型の人材育成プログラムとして展開している。



都丸 孝之
Takayuki Tomaru
 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 特任准教授 博士(システムエンジニアリング学) 慶應義塾大学大学院 経営管理研究科(慶應ビジネススクール)非常勤講師
 富士ゼロックス株式会社を経て現職。米スタンフォード大学にて顧客価値分析を活用した事業創出および製品企画プログラムに参画。現在は、慶應義塾大学大学院経営管理研究科および複数の企業にて顧客価値分析を用いた事業創出プログラムを展開。専門分野は、仮説検証型のアプローチを用いた事業の創出、モノづくりの融合(グローバルことものづくり研究ラボの運営)、低コスト部品の調達するためのサプライヤーの開拓・評価など。





受講者のコメント



秋元 美由記 ダイハツ工業株式会社 (第7回参加者)
 様々な業種・業界・年齢を交えた受講生が協働してイノベティブな問題解決に取り組むプログラムは、まさに多様な現代社会で求められるプロジェクト・デザインを自分の肌で感じられる機会です。五感をフルに働かせて思考するエキサイティングな6日間は、これまでの価値観の壁を取り払われ、新たな次元への成長を実感できました。また、研修の枠を超えて未来に繋がる仲間に出会えることも、この研修の大きな魅力だと思います。



伊賀 智康 東京海上日動火災保険株式会社 (第7回参加者)
 研修参加のきっかけは、上司の指示で前向きな理由でなかったものの、研修は、「本当に参加できて良かった」、「周りのメンバーにも是非参加してもらいたい」と心底思える内容でした。「システム思考×デザイン思考」から、アイデアを実現するためのマネジメントスキルに至るまで、講義、ワークショップを通じて実践的に学べる充実した内容でした。経験豊富な講師の皆様、志の高い受講生に囲まれ、刺激的な6日間を過ごせ、その後も交流が持てるのが、この研修の醍醐味です!!



大西 由訓 株式会社エフアンドエム (第8回参加者)
 先日、自身がマネージャーとして関わったプロジェクトを成功させることができました。その立ち上げ、企画、実行、振り返りには、本合宿で学んだシステム思考、デザイン思考、プロジェクトマネジメントの技法、経験が大いに役立ちました。即効性と汎用性の高い研修で、様々なチャレンジに活けると実感しています。


迫 良介 株式会社リコー (第7回参加者)
 数年前から商品開発やPMの在り方を考え、悩んできました。市場が成長している時は商品計画のQCDを守る開発を重視していましたが、市場が飽和するとそれでは通用しません。どのようにしてイノベーションを起こすか、どのようにして顧客価値を創造するか、どのようにしてビジネスモデルを構築するか、どのようにしてアイデアを事業計画に最短でまとめ上げるか等、手法と考え方をこの研修を通じて学ぶことができました。


須山 隆史 新日鐵住金株式会社 (第6回参加者)
 中堅社員として案件規模が大きくなり関係者も増え、かつ後進の育成も任されるようになったことで、自らの知識・見聞の再整理の必要性を強く感じ、この研修を受講しました。「プロジェクト・デザイン」をキーワードに受講した講義の中で私は、ステークホルダー分析・プロジェクト憲章の立案・チームビルディングなどリーダーとして遂行すべき入口管理のやり方、その後の各フェーズでのポイントを実習など交えてご教授頂き、今まで体感的に得てきた知見を体系的な知恵に昇華する事が出来たと感じ、一回り成長できたことと実感しています。


立石 隆章 三菱商事株式会社 (第5回参加者)
 「システム思考」「デザイン思考」という物事の捉え方に大変な刺激を受けました。海外のプラント・インフラ建設プロジェクトに約10年従事して参りましたが、その経験を通じて暗黙知を、この思考の下で体系的に整理できました。その後、如何なる業務もプロジェクト思考で捉え、ゴールに達し続ける道筋を多くの関係者の役割や動機も含めてデザインすることで、組織と、そして自分自身の成果に繋げる事ができ大変感謝しております。


林 武行 株式会社東京証券取引所 (第9回参加者)
 様々なプロジェクトの企画段階において、どのように考え、どのようなプロセスで推進すれば良いのか常日頃悩んでおりましたが、「システム×デザイン思考」を学ばせて頂いたことにより、これらの事柄を体系立てて捉えることができるようになり大変有益でした。また合宿研修の時間は、これらの学問について、日々の業務を離れ、様々な立場の方々と共に寝食を忘れて取り組むことができる、刺激的で大変貴重なものでした。


藤本 智裕 池田市役所 (第7回参加者)
 当時は病院の経営企画部門に所属し、大阪でSDMやPMBOK、BABOKを個別に学んでいましたが、それらを統合的に学べる唯一の機会と思い、思い切って東京へ自費で参加しました。医療や行政の現場はそもそも答えのない問題だらけであり、このSDM×BABOK×PMBOKは、イノベーションのためだけでなく、非営利をはじめとするあらゆる組織が直面する問題解決のために、誰もが習得すべき不可欠な基礎的能力であると日々実感しています。

■ 過去の受講者 ● 総受講生174名(第1回~第9回)

職種別内訳	第5回以降のデータ(139名)
一般	31
課長級	17
その他	15
部長以上	12
プロジェクトマネージャー	11
主幹	10
主任	7
係長	7
課長代理級	4
副部長	2
専任	2
チーフ	2
技術者	2
プロジェクトリーダー	2
エキスパート	2
次長級	0

※学生、専門職など

職種別内訳	第5回以降のデータ(139名)
システム	18
その他	16
鉄工メカ	15
自動車	15
養老保険	10
商社	9
自動車部品製造	9
自動車メーカー	8
運輸	7
コンサルタント	6
取引所グループ	5
人材育成	2
教育	2
電気メーカー	1
機器製造業	1
電気・ガス	1
政府機関	1
出版	1
興行	1
ベンチャー	1

※学生など